

2月19日(日) 第二礼拝 「希望を買いましょう」 エレミヤ 32章 6~15節

今日の御言葉は、ユダヤ人の歴史の中で最も絶望的な、暗い時期のもので、バビロンの軍隊がエルサレムを包囲して、いつ陥落してもおかしくない時期（BC587年）でした。エレミヤは神様からいただいた預言を語りました。「あなたがたはエジプトに頼るな。バビロンの捕虜になるように。」と。それを聞いてゼデキヤ王は怒り、彼を逮捕し監視の庭（牢）に入れました。そのような時に親類ハナヌエルがエレミヤを訪ねて来ました。親類の第一番目だったエレミヤに土地を買い戻してもらうためでした。エレミヤは彼が来ることを神様から知らされていました。エルサレムが包囲され、まもなく滅ぼされるという時期、これは理解できない行為でした。しかし、エレミヤは「それが主のことばであると知った(8節)」のです。

今、私たちは希望を買う時期です。世界的には、不法がはびこり、戦争や飢饉があり、年々死亡率が増加し、希望が見えない状況です。このような時代であっても、私たちは神様のことばをしっかりと握ることで希望を買うことができます。福音（エヴァンゲリオン）は、神様が統べ治められるということです。イエス様が全世界の統べ治めておられる、これが福音です。この世の歴史はイエス様の歴史（history は his story）です。歴史を支配するのは主です。この世の暗闇が勝つように見えても、主は私たちの勝利者であり、全能者であり、全ての主権者です。

10-15節、エレミヤは、これが主からのことばだと知り、証書に署名し土地を買い戻しました。このバビロンに捕囚になろうとする時期に、エレミヤは監視の庭にいる人々の前で証書を通して土地を購入することを伝え、これは神様から出たことだと預言しました。エレミヤは希望を宣伝したのです。私たちの希望はイエス・キリストです。イエス様が日本を統べ治める王です、これが希望です。

イエス様を通して、全ての絶望が希望に変わるので、罪責感という苦しみのマイナスを、イエス様が代わりに罪となられて、流された血潮で私たちの罪を赦し、義としてくださいました。絶望的な私たちの病、煩いをイエス様が背負い、その打たれた傷によって癒してくださいました。私たちにふりかかる律法の呪いは、イエス様が全て背負ってくださいました。そのことを信じましょう。

私たちの最後の絶望は死ですが、死んでも生きています。生きていてイエス様を信じる者は決して死ぬことはありません。なぜならイエス様は死を背負い、陰府にくだり、よみがえられました。イエス様はいのちであり、よみがえりです。聖霊様は、無力な私たちと共におられ、できないこともできるようにしてくださいます。これが希望なのです。神から来るものは皆希望です。

私たちの思いと霊と体の全てが“神は良き父である”と深く覚えるためには、祈りが必要です。私たちの父なる神様は想像以上に良き神様です。皆さん、無条件で愛されていることを味わってください。そのことを知る時、劣等感も妬みもなくなり自由になります。

信仰を遺産として残すことは重要です。Back to Israel、イスラエルを目標として毎日祈っています。私たちの目標は、全世界に福音が宣べ伝えられることです。それからイエス様は来られます。私たちが目標となるものを買ひ、子孫に残すこと、エレミヤも同じようにしました。イエス様には永遠の希望があります。アーメン！